

2022年4月5日

## 第9回守山野洲川クリテリウムC5カテゴリーの第1組、第2組レースにおける第2組の追い抜きについての見解

守山野洲川クリテリウム実行委員会

実行委員長 小西 良喜

総務・競技委員長 寺岡 敦

審判長 森 一

### 1. 経緯

大会終了後（3月22日）にC5第1組に出場された参加者A様から、リアルスタート後にC5第1組をニュートラルにして、C5第2組に追い抜かせたことについて実行委員会としての見解を求めるお問い合わせをいただきました。

### 2. 事象

当該大会のC5カテゴリーの第1組（10時15分発走）、第2組（10時15分30秒発走）において、リアルスタート後の2周回目に入った時に両組の間隔が30秒以下の差になり、第2組の先導バイク審判から競技委員長、審判長に「第2組が第1組に追いつきレースが混乱するため危険である」との連絡がありました。

連絡を受け、競技委員長の判断で第1組にニュートラルをかけて第2組を追い抜きさせ、危険を回避いたしました。

### 3. 実行委員会としての見解

- (1) 第1組の集団のペースが上がらず第2組が第1組に接近したため、競技委員長の判断で第1組にニュートラルをかけて第2組を追い抜きさせました。競技委員長の判断は（公財）日本自転車競技連盟競技規則第95条第6項に基づき下した判断です。
- (2) 今回のように、第1組の集団のペースが上がらず第2組が接近した場合、危険回避の為に競技委員長、審判長の判断により第1組にニュートラルを実施し第2組に追い抜かせることがあるということをレース開始前に参加選手の皆様にご案内していませんでした。
- (3) 今後の対応として、次回大会以降も組分け（第1組、第2組など）で開催する場合、スタートにおける時差を1分にいたします。